

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1155	(H.24)No.	1155
-----------	------	-----------	------

事務事業名	中学校ALT派遣事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	和南 義一	

会計区分	事業コード	482001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	中学校ALT派遣事業
項	中学校費	(小事業名)
目	教育振興費	中学校ALT派遣事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	3	文化交流
	小施策	2	国際交流の推進
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
中学校の英語教育での「聞く・話す」力の育成、「コミュニケーション能力」の育成を図る。
事業内容
市内5中学校にJETプログラムによる外国語指導助手を派遣するとともに、小・中学校の連携として、小学校の英語活動の支援を行う。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	市内5中学校にJETプログラムによるALT(外国語指導助手)を2名配置した。小中学校の連携として、小学校の6年生の学級を対象に授業を行った。 ・共済費(2名)967千円 ・賃金(2名)7,284千円 ・旅費(2名)69千円 ・消耗品費30千円 ・保険料(2名)50千円 ・備品購入費(2名)20千円 ・負担金(2名)144千円 ・修繕料(2名)8千円	市内5中学校にJETプログラムによるALT(外国語指導助手)を2名配置する。小中学校の連携として、小学校の6年生の学級を対象に授業を行う。 ・共済費(2名)1,080千円 ・賃金(2名)7,125千円 ・旅費(2名)500千円 ・消耗品費(2名)30千円 ・修繕料(2名)25千円 ・保険料(2名)60千円 ・住居借上料(2名)84千円 ・備品購入費(2名)20千円 ・負担金(2名)664千円

H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
市内5中学校にJETプログラムによるALT2名を配置する。小中連携として、小学校6年生の学級を対象に、授業を行う。	市内5中学校にJETプログラムによるALT2名を配置する。小中連携として、小学校6年生の学級を対象に、授業を行う。	市内5中学校にJETプログラムによるALT2名を配置する。小中連携として、小学校6年生の学級を対象に、授業を行う。

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	(0千円) 8,572千円	9,588千円	9,600千円	9,600千円	9,600千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他(諸収入)	36	35			
一般財源	(0) 8,536	9,553	9,600	9,600	9,600
人工数					
職員	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
臨時職員等	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人
概算人件費	(0千円) 573千円	573千円	573千円	573千円	573千円
+ 総事業費	(0千円) 9,145千円	10,161千円	10,173千円	10,173千円	10,173千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
市内5中学校に外国語指導助手を派遣し、「聞く・話す」力の育成、「コミュニケーション能力」の育成を図ることができた。また、小学校の英語活動の支援により、中学校の英語教育へのスムーズな接続が図れた。	今後もALT(外国語指導助手)を継続配置し、中学校の英語教育での「聞く・話す」力の育成、「コミュニケーション能力」の育成を図る。ALTの活用について、教職員が研修を積む必要がある。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	子どもたちの「確かな学力」「豊かな人間性」「健康や体力」、さらには生涯学び続けることができる社会性を身に付けるための教育環境の充実に資することができた。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
児童生徒のコミュニケーション能力の育成及び国際理解教育さらに英語能力の向上を図るために本事業の継続は必要である。	名張市子ども教育ビジョン 名張市次世代育成支援行動計画